

はばたき

病院のミッション

「地域に密着した医療を提供し、
地域の絆に貢献します。」



～表紙の紹介～ 山茶花（さざんか）
童話の「たきび」の歌詞に出てくる花です。
冬の花なので、雪がよく似合います。
花言葉は「ひたむきさ」です。

編集・発行／河北中央病院広報アピール委員会

発行月／平成27年1月

〒929-0323 石川県河北郡津幡町字津幡口51番地2

TEL076-289-2117（代）FAX076-289-5462

E-mail: hospital@town.tsubata.lg.jp

肺炎球菌ワクチン

～定期接種のチャンスをお見逃しなく～

院長 寺崎 修一

「65歳を過ぎたら、肺炎予防」 某有名俳優さんのこんなコマーシャルをご覧になった方もいらっしゃると思います。今、なぜ肺炎予防なのでしょう？それには二つ理由があります。一つは、日本人の死因の中で肺炎が増えて脳血管疾患（脳梗塞など）を抜いて第3位になったことと、もう一つは、平成26年10月から高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの定期接種が始まったからです。ちなみに、第1位は悪性新生物（がん）、第2位は心疾患です。では、なぜ65歳なのかというと、肺炎で亡くなる方の95%以上が65歳以上の高齢者だからです。日本は超高齢社会となり、肺炎予防の重要性が増してきているのです。

肺炎とは、主に細菌やウイルスなどが肺に入り込んで起こる肺の炎症です。肺炎はどうしたら予防できるのでしょうか。一つは、細菌やウイルスが体に入り込まないように、マスク、手洗い、うがいをすることです。また、抵抗力を高めるため、規則正しい生活、禁煙、そして糖尿病、心疾患、呼吸器疾患などの持病があれば、治療をきちんと受けることがあります。そして、今回のテーマである予防接種を受けることです。

肺炎の発症予防、重症化予防に 有効とされている予防接種に肺炎球菌ワクチンがあります。肺炎球菌とは、肺炎を起こす細菌の一つで、市中肺炎（病院や施設に入院・入所していない一般の方々がかかる肺炎）の原因菌の約3割を占めています。インフルエンザが流行する冬には、特にこの菌が原因となることが多くなるとされています。短時間で重症化しやすいのもこの菌による肺炎の特徴です。抗菌剤が効きにくい（多剤耐性化）肺炎球菌が急増してきており、積極的な予防接種が勧められています。慢性肺疾患や65歳以上の高齢者では、インフルエンザワクチンとの併用効果もあり、入院や死亡のリスクを減らすことがわかっています。このワクチンの予防効果は5年以上続くとされています。逆に5年を経たないで再度ワクチンを接種すると、皮膚の副反応が強くとされていますので、ワクチンをいつ接種したか記録しておきましょう。

さて、予防接種には 定期接種と任意接種の2種類があります。定期接種とは、感染すると重症化したり感染力が強く集団感染するおそれがあるため、国の法律で定めている予防接種です。定期とは繰り返しという意味ではなく、一定の時期（年齢）になったら受けるという意味です。決められた期間内なら費用で公的な補助が受けられます。

肺炎球菌ワクチンは 定期接種ですので、補助があります。津幡町では対象の年齢になったときに接種券が送付されてきます。このチャンスをお見逃しなく。決められた期間を過ぎてしまうと、自費での接種になってしまうので注意しましょう。

私の定期接種は いつ来るの？と思われた方。65歳未満の方は65歳になる年度、65歳以上の方は70歳、75歳といった5歳ごとの区切りの年齢になる年度に接種券が送られてくると思います。その他、自費での接種に対する助成など、詳しくはみなさまがお住まいの市町のホームページ、市町の役場、あるいはお近くの医療機関にお尋ねください。



職員からのお話

～当院職員がリレー形式でお伝えします～



病棟看護師 板井 順子



あまり運動らしいことをしていないが、散歩を10年以上続けている。なぜ続けることができたのか。それは「いいかげん」だから。最初は自宅の周りだけだったが、今はコースを3つ、気分や体調、天候などを考えチョイスしている。速度も速くしたり、緩めてみたりしている。

コースのチョイス次第でいろいろな出会いがある。例えば、春は荒地に桜が咲いていたり、夏は木イチゴが生っている。秋は草の種の不思議な形、冬は雪の中に動物の足跡があったりする。自然の変化だけでなく、散歩の途中で見

かける、家々の趣向を凝らしたガーデニングが、季節ごとに変わっていくのを見るのも飽きが来ない。

散歩中に仕事や家事のことなどを考えることができ、たまに目からウロコみたいなことも出てくる。考えているうちに、イライラしていても気分が落ち着いてくる。天気が悪いと少し気分が乗らない時もあるが、当分は散歩を続けられそうである。

事務課主事 太島 公平



こんにちは、事務課の太島(たじま)といいます。この度、広報誌「はばたき」を手にとっていただきありがとうございます。

今回私がお話したいことは、病院の正面玄関に設置されている「再診受付機」についてです。

受付機は、午前8時から機械にて受付できる大変便利なものですが、受付完了までにいくつかの手順があり、初めて使う方にはいささか難しい部分があります。そのため、午前8時過ぎから1時間程病院職員が受付機の近くに待機し、来院

された方への挨拶と、受付機の操作で困っている方への説明を行っています。

受付機が設置されてから1年余り経ち、今では多くの患者さんがテキパキと画面を操作され、受付手順の説明のために職員が待機する必要は少なくなりましたが、患者さんと職員とで挨拶を交わせる機会があるのはとても良いことだと思います。

朝来院された時に、何か困ったことがありましたら、受付機の近くに職員が待機していますのでお気軽にお尋ね下さい。

年頭のあいさつ

院長 寺崎 修一



あけましておめでとうございます。昨年4月に病院長に着任し、この広報誌はばたきで「河北中央病院は生まれ変わります」という文章を掲載しました。

昨年は初期改革の年と なりました。まず行ったことは、病院の理念を職員とともに見直すことでした。理念を見直すことでこれからの河北中央病院の方針を明確にし、職員一丸となって取り組むためです。内容は別掲のとおり、ミッション（使命）、ビジョン（めざすべき将来像）、バリュー（職員が共有する価値観）とし、ミッションは「地域に密着した医療を提供し、地域の絆に貢献します。」としました。

地域に密着するとは、地域の人々と近い関係にあるということです。手をのばせばすぐに届く感覚といえ良いでしょうか。すなわち、住民のみなさまから顔が見える関係を築き、地域の他の医療機関、介護福祉施設、そして行政のみなさまとも連携をしていくことです。

わが国は 今後さらに少子超高齢社会が進み、認知症患者の増加も予想されています。このことは、津幡町、河北郡市においても同様です。この危機を乗り越えるには以下のことを行っていかねばなりません。一つは、現在介護が必要になっている方々を地域でしっかりと支える体制を作ることです。この体制のことを「地域包括ケアシステム」といい、すでに関係する心強い有志のみなさまとともに準備を始めています。もう一つは、将来に向けて早逝の防止、すなわち若くしてがんや心筋梗塞などで亡くなることを防ぐことと、さらに将来の要介護状態を予防することです。その原因の多くは、肥満、食生活、運動不足といった生活習慣に由来するものです。生活習慣の見直しと適切な薬物治療を行うことで認知症の発症率を下げることも可能です。当院は地域の方々と協働して引き続きこれらに取り組んで参ります。

津幡町、河北郡市が 未来に向けて活力のある市町であり続けるためには、住民のみなさまが健康であり続けることが不可欠です。今年もみなさまが健やかに過ごしいただけるよう、お役に立てればと願っております。



～病棟改築工事を終えて～

今年度は、空調や医療ガス、ナースコールなどの更新工事のため、多大なご負担をおかけし、また、ご協力をいただき感謝申し上げます。

改築により大部屋にも洗面所が付き、部屋で洗面できるようになりました。また、各フロアにシャワー室ができたことで、フロア内でシャワー浴ができるようになりました。今

ミッション(使命)

- ・ 地域に密着した医療を提供し、地域の絆に貢献します。

ビジョン(めざすべき将来像)

- ・ 地域の健康長寿社会を実現します。
- ・ 医療・介護・福祉・保健と密接な連携を構築します。
- ・ 公立病院として公益性をもった医療を提供します。
- ・ 地域の超高齢社会を支えます。
- ・ 質の高い地域医療、安全安心の医療を提供します。
- ・ 住民から親しまれ、選ばれる病院をめざします。
- ・ 職員が誇りとやりがいを持って働ける病院であり続けます。
- ・ 地域を支える優れた医療人を育成します。

バリュー(職員が共有する価値観)

【公立病院としての責務】

- ・ 利益ではなく公益性を追求します。

【密接な地域連携】

- ・ 地域の医療・介護・福祉・保健と密接に連携します。

【直接的な住民との関わり】

- ・ 疾病予防の啓発活動をします。
- ・ 住民と顔の見える関係を築きます。

【深い思いやり】

- ・ 家族に接するような深い思いやりを持って接します。
- ・ 患者さんの権利を尊重します。

【安全で質の高い医療の追求】

- ・ 質の高い医療を提供するため、努力し続けます。
- ・ 医療の安全を最大限に尊重します。

【継続的な改善努力】

- ・ 常に創意工夫、情報収集に努め、改善し続けます。

【最高のチーム力とスキルアップ】

- ・ 多職種による最高のチーム力で取り組みます。
- ・ 職員一人一人がスキルアップに努めます。
- ・ 優れた人材育成のため、職員を教育します。

.....
▽までの多目的トイレの面積を拡張し、車椅子でもゆったり動けるようにしました。また、トイレの床をタイルからクッションに切り替え、段差を解消し、バリアフリー化に努めました。

今回の改築では、療養環境の改善を優先しています。今後とも、皆様に安全で安心な気持ちの良い入院生活を提供できるよう努めていきたい、と思っています。

医療サービス室からのお知らせ

河北中央医療連携の会が開催されました。

昨年の11月10日（月）に、当院会議室において第1回河北中央医療連携の会が開催されました。



地域の医療機関の先生方と当院の医師との連携関係を推進し、地域住民へより良い医療提供を実現していきたいと思っております。

なお、今後も定期的に開催していく予定です。



看護研究

昨年の12月10日（水）に、第31回看護研究発表会が開催されました。毎年、日頃の看護の中で疑問に思うことや困っていることを題材に、約1年かけてグループで取り組んでいます。研究論文としてできあがるまでには、グループメンバーお互いの時間を調整し協力し合って作り上げています。23年度からは、県立看護大の先生にサポートしていただけるようになりました。そのおかげで、年々研究論文としての力を付けてきています。今年度は、昨年度の院内発表を経て、10月に宮崎県で開催された学会で発表することができました。

看護は家族の看病を始まりとし、ナイチンゲールが今の看護教育の基を創ったといわれています。それから多くの学術的な論文が生まれ、看護学となりました。それには、患者さんの傍にいる臨床看護師一人一人の感性をその場限りのものにするのではなく、発信しなければ看護研究には繋がりません。微力ながら当院の看護師も看護学を支える一部として、そして共に成長する仲間と現場を良くする手立てとして看護研究に取り組んでいきたいと思っております。



病院における薬局業務の変化に関して

薬剤師 谷山 徹

当院では、医薬分業を行うために平成10年より院外処方箋の発行を開始していますが、医薬分業が進むにつれて、病院内での薬剤師の仕事が外来患者の調剤中心の業務から入院患者の薬剤管理指導中心の業務に変化してきました。

この業務は、調剤、医薬品管理、医薬品情報管理、薬歴管理および服薬指導など、入院患者への幅広い技術・技能を評価したものです。その導入のために医薬品情報管理室（D I 室）を薬局内に設け、医薬品情報管理室の薬剤師が有効性、安全性など薬学的情報の管理および医師などに対する情報提供を行っています。また、投薬管理は、原則として、注射薬に関してもその都度処方箋にて行っています。また、入院患者毎に薬剤管理指導記録を作成し、投薬に際して必要な薬学的管理（副作用に関する状況把握を含む。）を行い、必要事項を記入するとともに、当該記録に基づく適切な患者指導を心がけています。更に、院内のリスク管理のために医薬品安全管理マニュアルを作成し、医薬品に関する院内勉強会の企画なども行っています。また、薬学部が6年制になったことに伴い、長期実務実習の受入も行っています。当院では、一昨年12月に電子カルテシステムを導入し、昨年9月より持参薬管理システムが稼働しました。これにより、患者様の持参された薬の内容を電子化することが可能になり、持参薬についても薬歴管理ができ、持参薬の切替サポートもスムーズに行えるようになりました。

病院薬剤師の仕事は多面的で忙しくなる一方ですが、今後とも地域住民の健康な生活確保の一助となるよう努めていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。



介護者教室を開催

昨年の9月27日（土）、当院リハビリテーション室において津幡町介護者教室が開催されました。

この教室は、町内に勤務するリハビリテーション専門職で構成する「津幡町リハビリテーション連絡会」が町の依頼を受けて開催しており、今回は当院の東理学療法士が講師を務めました。

教室では、「起居・移乗動作の介助方法」をテーマに、自宅で介護されている12名の参加者が介護状態により軽介助、中等度介助、重度介助の3グループに分かれて、講義と実技指導が行われました。実技では、ベッド上での寝返り、起き上がり、車椅子への移乗などの介助方法を、それぞれの介護状態に応じて練習しました。

介助者自身の負担を減らす方法を学んだり、参加者からの具体的な質問が飛び交うなど、皆様にはとても熱心に実技練習に参加されていました。



診療案内

病院の休診日／木曜日・土曜日の午後、日曜日、祝祭日、12月29日～1月3日

平成27年1月現在

		受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前 8:30~11:30	初診 健診	迫	寺崎	舟本	寺崎	高田	原田
		再診 ①	寺崎	—	寺崎	—	—	—
		再診 ②	原田	原田	原田	—	原田	—
		再診 ③	—	舟本	—	舟本	加藤 (循環器)	舟本
		再診 ④	—	高田	—	高田	舟本	高田
		再診 ⑦	—	石田 (神経)	—	—	金大 (糖尿病)	—
	午後 1:00~4:30	健診	—	原田	舟本	/	舟本	/
		再診	原田	舟本	寺崎	/	高田	/
外整 科形	午前 8:30~11:30	井上	井上	井上	井上	井上	—	
	午後 1:00~4:30	井上	手術日 ※1	回診日 ※2	/	手術日 ※1	/	
眼科	午前 8:30~11:30	太田	太田	太田	太田	太田	太田	
	午後 1:00~4:30	手術日	太田	太田	/	太田	/	
科皮膚	午前 8:30~11:30	—	—	竹田	—	藤井	—	
科婦人	午前 8:30~11:30	—	牧野田	—	—	—	—	

再診機の受付は午前8:00からできます。

※1 火曜日・金曜日午後は手術日のため休診ですが、手術がない場合は診察します。

※2 水曜日午後は回診日のため、午後1:00から3:15までの受付です。



明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。
これからも地域に密着した医療を提供する病院として活躍できるように、
様々な情報をお伝えできればと思っています。

これからまだまだ寒い日が続きます。手洗い、うがいをしっかりと、
ノロウイルス、インフルエンザ対策も忘れずにしていきましょう。

今年も皆様にとって健やかで、よりよい一年でありますことをお祈り申し
上げます。